

第14章

貸借対照表・損益計算書 帳簿の締切り

ラストスパート!



やっと終わる...



第14章 貸借対照表・損益計算書・帳簿の締切

第1節 貸借対照表

貸借対照表は、決算日におけるお店の財政状態を明らかにするための表で、資産・負債・純資産が記載されます。なお、精算表の表示科目と異なる部分があるため注意して下さい。

貸借対照表

××年12月31日

(単位：円)

資 産	金 額	負債及び純資産	金 額
現 金	(310)	買 掛 金	(1,500)
売 掛 金	(1,000)	資 本 金	(2,000)
貸 倒 引 当 金	(30)	当 期 純 利 益	(380)
売買目的有価証券	(800)		
商 品	(300)		
前 払 利 息	(100)		
建 物	(3,000)		
減価償却累計額	(1,600)		
	(3,880)	← 一致 →	(3,880)

貸倒引当金は売掛金等から控除する形で記載するんだ。

精算表では『繰越商品』だよ。

減価償却累計額は建物等から控除する形で記載するんだ。



第2節 損益計算書

損益計算書は、会計期間におけるお店の経営成績を明らかにするための表で、収益・費用・利益（または「損失」）が記載されます。

損 益 計 算 書

××年1月1日から××年12月31日まで

(単位：円)

精算表では『仕入』だよ。

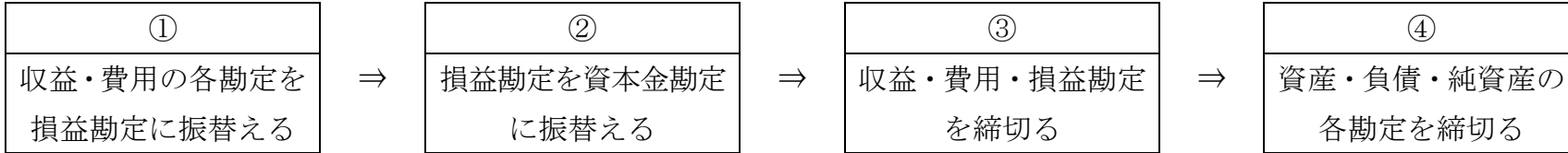


費 用	金 額	収 益	金 額
売 上 原 価	(1,600)	売 上 高	(2,500)
貸倒引当金繰入	(20)		
減価償却費	(100)		
支払利息	(200)		
有価証券評価損	(200)		
当期純利益	(380)		
	(2,500)	← 一致 →	(2,500)

精算表では『売上』だよ。

第3節 帳簿の締切り

決算の最後は帳簿を締切ります。帳簿の締切りの流れは以下の通りです。



この流れを具体例で説明します。

■決算整理後の各勘定残高

現金	売掛金	買掛金
400	450	150
資本金	売上	仕入
500	400	200

①収益・費用の各勘定を損益勘定に振替える

勘定科目	金額	勘定科目	金額
売 上	400	損 益	400
損 益	200	仕 入	200

損益	売上	仕入
仕入 200 売上 400	損益 400 400	200 損益 200

②損益勘定を資本金勘定に振替える

勘定科目		金額	勘定科目		金額
損	益	200	資	本 金	200

損益				資本金	
仕入	200	売上	400		500
資本金	200			損益	200

③収益・費用・損益勘定を締切る（二重線を引く）

損益				売上	
仕入	200	売上	400	損益	400
資本金	200				400
	400		400		

仕入			
	200	損益	200



二重線で締切る

④資産・負債・純資産の各勘定を締切る（残高を次期に繰り越す+二重線を引く）

現金				売掛金		
	400	次期繰越	400	450	次期繰越	450

買掛金			
次期繰越	150		150

資本金			
次期繰越	700		500
		損益	200
	700		700